

肝嚢胞アブレーション

90歳代 女性

- 右上腹部痛
- 心筋梗塞などの既往はあったがADLは良好

CT



以前から肝嚢胞を認めていたが、増大。他に異常所見は認めなかった。

ドレナージ



18G PTC針
7Fr.ピッグテールカテーテル

Discharge:630ml

0.5%硝酸銀溶液による焼灼



120ml 5分間 静置
同量の生理食塩水で中和

1週間ごとに(3回)施行

10～20ml/dayの排泄にな
ればカテーテルの抜去

follow up CT



post 2m



post 4m

症状の再燃なく経過

肝嚢胞アブレーション

- アルコール
- テトラサイクリン系抗生剤
(ミノサイクリン、ドキシサイクリン)
- 高張食塩水
- 当院では、「0.5%硝酸銀溶液」を使用

World J Gastroenterol 2006 May 14;12(18):2949-2954